

8月の園だより

令和3年8月2日
女塚保育園園長 片野 太郎
<http://www.onnazuka.com>

東京オリンピックが開催されています。様々な競技で日本人選手が素晴らしい活躍を見せていましたが、特に女子ソフトボールでの上野投手の活躍には感動しました。1996年のアトランタオリンピックで正式種目となり、2008年の北京オリンピックで上野投手が2日間で413球を投げる力投で日本に初の金メダルをもたらしましたが、次のロンドン、リオデジャネイロオリンピックでは正式競技から外されていました。今回の東京オリンピックでは開催都市提案の追加種目として実施されました。13年の時を経て、再び上野投手の活躍による金メダル。北京オリンピックから13年間経った現在でも一線級で活躍し続けているということは並大抵の努力ではないと思います。またその姿が若い世代にも引き継がれていることも嬉しく思いました。開会式前までドタバタと不安な状況ではじまった東京オリンピックですが、選手達には罪はありません。画面越しで精一杯応援して欲しいと思います。

先月は昨年に引き続き“盆踊り大会”を“夏祭り交流会”に変更して行いました。子ども達は「興奮してお昼寝しなかった」という声もあり、とても楽しみにしていたようです。クラス毎の開催となりましたが保護者同士で少しでもコミュニケーションが取れたことと思います。

今月は子ども達のお休みにあわせ、職員も交替で休みを頂いております。また、出席人数等で保育室が変わることもあります。事前に掲示にてお知らせしますがご理解の程よろしくお願ひします。

～水の事故、起きてからでは遅すぎる～

川・海を安全に楽しむ為には、まず、水温は22℃以上で、波や流れが穏やかであること。

遊泳禁止の場所で遊泳するなどはもってのほかであり、水深が浅い場所でも事故は起こります。川や池は流れの急な所や水温が冷たい所もあり、藻や苔ですべりやすい所も多くあります。事前の天候チェックや、ライフジャケット・マリンブーツの着用は水難事故を防ぐ上で、対策のひとつになるかもしれません。大人が安全な遊び場をチェックする目をもち、目を光らせ、責任を持って子どもを水難事故から守りましょう。その上で夏でしか出来ない豊かな自然の中での体験をさせてあげましょう。また新型コロナウイルスの感染予防にも配慮しなければなりません。十分注意して下さい。



～水あそび・プールあそびで気をつけたいこと～

- ① 気温（28℃以上）・水温（22℃以上）のチェックをする。
- ② 準備体操は必ず行なう。
- ③ 禁止事項は必ず守らせる。
- ④ 子どもの体調に必ず注意する。
- ⑤ 子どもに異常があつたらすみやかに中止する。
- ⑥ プールあそびの前後は必ずシャワーをする。
- ⑦ あがつたら早めに着衣をさせる。



子どもを誘拐から守る「イカのおすし」の約束

- いか → いかない（知らない人にはついていかない）
の → のらない（車にのらない）
お → おおごえをだす（たすけて！！と大声をだす）
す → すぐにげる
し → しらせる（周りの大人に知らせる）

※ 何度も繰り返し覚えましょう。

こんけつのうた

うみ

- ① うみは ひろいな おおきいな
つきが のぼるし ひがしずむ
② うみは おおなみ あおいなみ
ゆれて どこまで つづくやら
③ うみに おふねを うかばせて
いって みたいな よそのくに

作詞 林 柳 波
作曲 井 上 武 士

